

# イチヨウシダ

*Asplenium ruta-muraria* L.

## チャセンシダ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

### 選定理由

生育地が稀で、個体数が少ない。(現況:R-)

### 形態

塊状の小さい根茎から少数の葉をのぼす。葉柄は葉身より長い。葉は1回羽状複葉小羽片が扇形で銀杏の葉に似ており、縁に鋸歯がある。葉柄の基部には黒褐色の狭被針形の鱗片がつく。孢子嚢群は小羽片の中央に集まってつく。

### 国内分布

北海道、本州、四国、九州。

### 県内分布

南加賀区。

### 生態など

常緑性の着生植物である代表的な好石灰岩植物で好陰湿潤地性、繁殖は孢子による。孢子は夏季に熟し、風で散布する。

### 生育環境

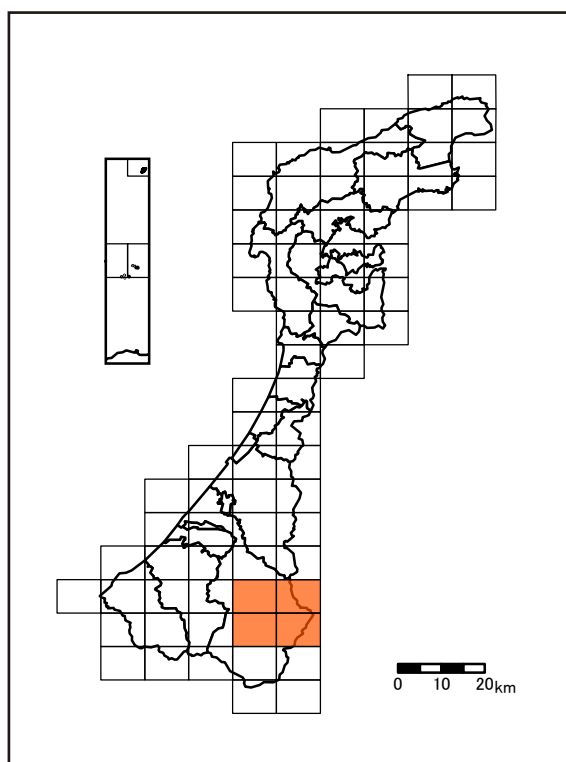
暖帯から亜寒帯までの石灰質のコケの生えた岩上に生育する。

### 危険要因

道路工事、管理放棄、自然遷移、産地局限、石灰採掘、その他(岩場の崩壊)。



本多郁夫・2001年9月16日・白山市



県内の分布